

ふたばこども園

園便り 1月号

ふたばっ子

令和5(2023)年1月10日発行

文責 園長 納富博文



※園日より「ふたばっ子」はホームページでもご覧いただけます。

明けましておめでとうございます

あけましておめでとうございます。正月3が日は晴天に恵まれ、穏やかな新年となりました。皆様も穏やかな新年をお迎えのことと思います。

うさぎ年は、卯（うさぎ）が穏やかで温厚な性質であることから「家内安全」、その跳躍する姿から「飛躍・向上」を象徴する年と言われています。また、「植物の成長」という意味もあり、新しいことに挑戦するのに最適な年と言われています。

子どもたちにとって、そして保護者の皆様方にとって、2023年のうさぎ年が、正月3日間の天気のように穏やかで、健康で、飛躍・向上の年になるようにと願っています。

どうぞ今年も、ふたばこども園の教育・保育へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

「園の自己評価」アンケートにご協力をお願いします

本日、『令和4年（2022年）度 園評価アンケート』を配布しました。13の質問項目について（年長組は14項目）、あてはまる評価に○をつけ、そのまま封筒に入れ、ご提出ください。

昨年度は、保護者様のご協力で回収率が94%で、一昨年に引き続き90%を超えました。今年度は回収率100%になったらいいなあと思っています。提出締め切りは1月20日（金）です。どうぞご協力をよろしくお願いいたします。

なお、アンケートの結果については、3月末にホームページ及びコドモン資料室で公開する予定です。

コロナ対策をお願いします

本日から3学期が始まりましたが、新型コロナウイルス感染症の第8波の急激な拡大が心配です。連日陽性者数が1000人を超え、多いときには3000人を超えています。亡くなる数も増えていきます。佐賀県はまたまた不名誉なことに、人口10万人に対する感染者率が全国ワースト1となっています。しかし、そうした状況や陽性者数に、多くの人が麻痺してしまい、緊張感も薄れてしまっているようです。

もう一つの心配がインフルエンザの流行です。全国でインフルエンザの流行期に入ったということで、新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行に気をつけるようにと、先日から報道が盛んにされています。コロナもインフルエンザも飛沫感染であり、予防対策は変わらないそうです。

今、新型コロナウイルス感染症もインフルエンザも、いつ、誰が感染してもおかしくない状況です。しかし、できるだけ感染はしたくないものです。園は、子どもたちの健康や安全を守るために、流行の拡大だけは防ぎたいと思っています。

そこで、これまでどおりの基本的な対策【「3密」の回避、手指消毒、手洗いの励行、大人のマスクの着用（子どものマスク着用は保護者の判断）】をしっかりと行っていきたくと思います。また、流行を最小限にとどめるために、状況に応じて、学級閉鎖や自宅待機等の予防対策も行っていきたくと思います。どうぞご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

「内田伸子先生講演会」ご参加ありがとうございます

12月10日（土）の内田先生の「AIに負けない子育て ～遊びをとおして子どもは伸びる～」の講演会は、参加者数が80名以上もあり、大盛況でした。ご参加いただきました保護者の皆様ありがとうございました。

講演会の後に皆様からいただいたアンケートを集計しましたので、掲載します。（後述）感想では、

①「共有型」と「強制型」の子育ての違いを知り、「共有型」がいかに大事であり、子どもがよく育つかがわかった。

②子育てとかけて「盆栽」ととく。その心は「まつ（待つ）」と「きく（聴く）」というお話があり、子どもを見守っていく親でありたいと思った。

③子どもがおもいきり遊ぶ「子ども主体」の保育がいかに大事であるかがわかった。

などの感想がたくさんありました。また、「ぜひ、もう一度聴きたい」というご意見もありました。

来年度もご来園いただく機会がありましたら、保護者様向けのご講演を計画したいと思います。その時には、まだ聴かれていない保護者様は、ぜひご参加ください。

内田伸子先生 ふたばこども園 講演会 アンケートより

◇講演内容が興味深く大変面白いものでした。毎日の生活が慌ただしいのですが、今日の講演歌詞を聴き、立ち止まり自分の子育てを振り返る良い機会でした。今日から”ママ”頑張ります。

- ◇習い事などの早期教育について気になっていましたが、必ずしも効果があるわけではなく、「非認知能力」を育てることが大切なことが分かりました。
- ◇日頃、子育てをする中でこれはどうなんだろうと不安を持ちながらしていたことが、よかったり、いけなかったりしたことが、内田先生の講演を聴いてはっきり分かりよかったです。
- ◇幼児期の脳の発達、生物学的な面から子どもの想像力について学ぶことが多かったので興味深かったです。子ども中心の保育や遊びの大切さを学ぶことができました。
- ◇とても中身の濃い内容で感動しました。2人の娘を育てる中で、子ども達に対して「共有型」でいてあげられるか自問しました。教えてもらった、まつ（待つ）、きく（聴く）を大切にしたいと思います。
- ◇まつ（待つ）、きく（聴く）を心に子ども達を見守っていける親でありたいと思いました。
- ◇3才と4才の子育てをしています。昨年度も聞かせてもらいとても参考になる講話でしたが、今年もまた内田先生の講話を聴き、感銘を受けました。もっと子どもの感性と個性を伸ばしたいと思いました。
- ◇全体を通して、ハッとすることが多くとても興味深い物でした。子育ての講演でこれだけ科学的で倫理的な内容を聞いたのは初めてだったしわかりやすかったです。
- ◇子ども中心の保育の大切さを改めて知りました。子どもの気持ちに寄り添い、一緒に遊べるようにしたいと思います。
- ◇参加してとても良かったです。また、もう一度、内田先生の講演会を聴きたいと思いました。
- ◇子どもの脳の中の、想像力の発達の仕組みが分かって興味深かったです。また、講演会を聞きたいと思いました。
- ◇子どもの学習（塾など）が早ければ早いほど良いということの間違いに気づけて良かったです。また、詳しい説明があり、とても理解しやすかったです。
- ◇現在2才の子を子育て中です。日々の子どもの接し方や非認知能力の大切さを勉強しました。もっと子どもと遊んであげようと思いました。
- ◇時間が足りないくらい素敵な話でした。自由保育がよくてふたばを選んのですが、先生の話（脳科学の実証）を聞いて改めてよかったなあ実感しました。脳科学との実証の話があり、結果や結論から納得いきました。小児科に勤めていて発達相談も多く、家庭でも仕事でもが先生の話を生かし、相談に応じたいと思います。小学校の子どもの学力のことも心配でしたが話を聞いて安心しました。
- ◇去年までは一斉保育の園で、今年度から自由保育の園で働いています。子どもの思いや気持ちを聞くと言うことが、どれだけ子どもの成長にとっていい影響を与えるかを改めて感じさせられました。親としてはどうしても、日々忙しくて、スマホにも頼ってしまっています（いけないと思いつつも）。子どもとの会話がいかに大切か感させられました。
- ◇スマホやタブレットの影響は日々気になっていたのも、はっきり証明されていたので認識を改めたいと思います。
- ◇期待以上に濃い内容に感動しました。漠然と読み聞かせや五感を使った体験は大切だと思っていたのですが、想像力が生きる力になるという立証を明示してくださり、なるほど！と思いました。お話を通して自分自身の子育てを明確に省みることができ、子どもだけでなく自分育てのために貴重な時間となりました。また、園の先生方には時間いっぱい娘を預かっていただきたき、心置きなく講演に集中できました。贅沢な時間をありがとうございました。
- ◇とても勉強になる講演会でした！子供のしつけについて悩むことが多く、色々なお話を聞いてみたいと思い今回参加させていただきました。子供に「強制型」のしつけをしてしまっていると大変反省しました。『どう思う？』と尋ねながらも、せかせか話してしまい考える時間をたくさん作ってあげていなかったなと思いました。そしてもっともっと3つの3Hを大切にしていこうと思いました！たくさん一緒に遊ぶ時間を共有して、アクティブ・ラーニングの機会を増やし子どもはもちろん私自身も非認知能力を育てていきたいと思いました。
- ◇難しい内容もありましたが、たくさんのデータをもとにお話ししていただいたので、納得できることが多くありました。いろいろな情報の中で、親の方が焦ったりつい欲張ってしまいそうになりますが、今しかない成長期にどんなことが大切かを教えていただくことができ、大変良い機会になりました。
- ◇とても素晴らしい内容の講演会をしていただき、本当にありがとうございました。3Hの大切さや、幼児期の遊びの大切さがよくわかりました。また、先生方でも、家庭とでは子どもへの接し方が感情的になるというお話も聞いて、ホッとしました。1メッセージ（私はこう思う）で、私も子どもに話せるようにしたいと思いました。素敵な時間をありがとうございました。

